

**FY2019 Annual Report for International Joint Research with Research Fund**  
**International Joint Digital Archiving Center for Japanese Art and Culture (ARC-iJAC),**  
**Art Research Center, Ritsumeikan University**

Date (year/mm/dd): 2020/04/23

1. Title of the Research Project	
“Kyoto News” Preservation and Utilization Project	
2. Research Leader	
Name	Organization and title
Yoneo OHTA	一般社団法人京都映画芸術文化研究所代表理事 (おもちゃ映画ミュージアム) Professor, Osaka University of Arts (until March 2020)
3. Co-researcher (Total: 6 persons)	
Name	Organization and title
Shosaku TAKEDA	Professor, College of Image Arts and Sciences, Ritsumeikan University
Yuki HIDAKA	京都市総合企画局総合政策室市民協働推進コー ディネーター
Shinya SAITO	Associate Professor, College of Image Arts and Sciences, Ritsumeikan University
Kenichi HASE	Doctoral Candidate, Kyoto University
Akiko MIYAMOTO	Assistant Professor, Department of Japanese Language and Literature, Doshisha Women’s College of Liberal Arts
Fumiyo OHTA	一般社団法人京都映画芸術文化研究所(おもちゃ映 画ミュージアム)理事

4. Overview of the Research Project (About 150 words) Note: If you have changed your project since the time of application submission, please write clearly where you made changes.
<p>1956年から1994年まで京都市広報局が制作し、市中の映画館で上映された「京都ニュース」。京都市歴史資料館に保管されている全244作品(全残存547巻)の画・音ネガ原版と、その原版からプリントされた16mm(約同数の上映プリント)が立命館大学アトリサーチセンターに委託保管されている。これらの内容を把握することで「京都ニュース」の全容を解明する。この映画のデジタル化は、現在1970年までの70本にとどまり、残り174本が未作業のままである。各号により4~5のトピックがあり、1200以上の題材が記録撮影されている。これらの映像は、高度成長期からバブル崩壊期まで、京都における市政活動や施策、都市開発による景観の変容、折々の世相や出来事、市民生活、祭事など、全容を把握することで、「京都学」の見地のみならず、各分野からの学術的なアプローチや研究素材としての価値が大きいと考えている。京都市による全ニュース映像のデジタル化に向けて、データベース化を進めることは重要な研究機会と考えている。今回の研究で、ARCに保管された16mmプリントからデジタル化し、欠落した10巻ほどを残し、すべての内容を把握するところまで進んでいる。その継続作業と調査を目的にしている。</p>

**5. Overview of the Research Results** Note: We may use this section for the Center's PR.

「京都ニュース」に関する調査は、京都市歴史資料館に所蔵している画・音ネガ原版の目視調査にはじまり、立命館大学アートリサーチセンター(ARC)所蔵の 16mmプリントで補う形で、研究設備・資源活用型研究として、「京都ニュース」の全容を調査する目的で共同研究を始めた。すでに初期の 70 作品は DVD 化され、歴史資料館に所蔵されており、それ以外の 174 作品が対象となった。

大量のフィルムであるため、各缶に貼られた缶票を基に、既存リストとの確認、缶票に書かれた内容とフィルムに記録された映像との照合を目的に、ARC のフィルムを中心に調査を始めた。16mmフィルムからの簡易テレシネ(デジタル化)を進め、内容把握も進んでいる。

一方、京都市は、フィルム保存を目的に、経年劣化した 35mmフィルムを「国立映画アーカイブ」に寄贈すべく、指定された専門のラボにフィルム調査を依頼した。しかし、この調査はフィルム本来の素材や劣化状態などの調査であって、各巻の内容については、本プロジェクトが担うことになる。本調査において、すでに内容把握しており、リスト化もできている。ARC のフィルムからデジタル化(簡易テレシネ)を随時行うことで、全容解明を進めている。現在のところ、全「京都ニュース」の 95%以上の詳細な内容が分かり、欠落したフィルムが数本のところまできている。今回、同志社女子大の研究補助を得て、欠落した巻 35mmフィルム 5 巻の復元を行った。内容面では、完全に散逸したであろう 2 作品を残し、ほぼ網羅できた段階にまで来ている。ただ、紙資料残っていないため、音声部の採録など、今後、これらのソフトを公開するには、各巻の整理など人材的にも費用的にも、限界にきているというのが、現実である。

**6. Research Activities**

- (1) Books
- (2) Articles
- (3) Presentations
- (4) Symposiums and/or research meeting you organized
- (5) Other research activities (Lectures to the general public, and appearances in/contributions to mass media)
- (6) Academic awards
- (7) Grants-in-Aid for Scientific Research -KAKENHI
- (8) Competitive grants other than KAKENHI
- (9) Other achievements